



スマイル 天神

天神小学校
 学校だよりNo. 20
 平成30年9月21日
 発行者 蒲川法子



聞き上手になる

家庭で子どもと話す場合には、どのような聞き方をしていますか。

親が教え込むというやり方ではなく、子どもの話を真正面からしっかりと聞いてやるということが子育てにとっては大切です。それは、子どもに自ら考えさせるという機会になるからです。

親の聞き方の例をいくつかあげてみましょう。

1 子どもの言うことを黙って聞く。

2 相づちをうつ。・・・「そう」「まあ」「うん」「へえ～」・・・

3 もっと話すようにうながす。・・・「もっと話してみて」「それから・・・」

以上の例は、どれも子どもの話を聞くという姿勢にはなっています。また、「今忙しいから・・・」と拒否する親よりはるかに良いと思います。ただこれだけでは十分ではないという教育学者もいます。それは次のようなことからです。

1 の「黙って聞く」では、親からの言葉がないので子どもは物足りないと思う。

2 の「相づち」では、本当に親に理解されているか不安になる。

3 の「うながす」だけでは、自分の言ったことを親がどう思っているかわからない。

子どもの話を温かく受けとめ、親の思いをていねいに投げ返してやるのが大切だそうです。

例えば、「晩ご飯まだ？」と言ったら、子どもは空腹を感じているなと受けとめて「お腹が空いていたのね。」と返したり、「勉強したくなかったなあ。」といったら「お母さんも同じような思いは何度もあったなあ。でも好きな算数だけは楽しかったなあ。」と返したりすることが大切だそうです。このような対応が、子どもに「自分は親に理解されている。」と感じさせ、子ども自身が自分を眺められるようになり、思考を先に発展させた言葉や行動がとれるようになるそうです。

楽しかった修学旅行

先週13～14日、6年生と修学旅行に行っていました。事前の準備がきちんと整えられ、しおりには目的地である吉野ヶ里遺跡や門司港レトロ、いのちのたび博物館、トヨタ自動車についてまとめてありました。また、歌のしおりも子どもたちの手作りで車中も楽しく過ごしました。ホテルではレクレーションも行われ、係を中心に楽しい出し物が披露され素敵な時間を過ごしました。各場所でのあいさつも立派でした。集合時刻もきちんと守り、班別自主研修も友達と協力して活動することができました。添乗員の方からもほめられました。

天神小の最高学年として自覚ある行動がとれた子どもたちの今後の成長が楽しみです。



10月の主な行事予定

- 2日(火) 特別支援学級合同遠足
- 3日(水) 委員会活動
- 5日(金) 前期終業式
- 8日(月) 体育の日
- 9日(火) 後期始業式
- 10日(水) 視力検査(6年)
- 11日(木) 5年宿泊体験学習(～12日)
- 学校保健委員会(給食試食会・味噌造り)
- 13日(土) 市P連チャリティバザー
- 15日(月) 視力検査(5年)
- 3年校外学習
- 16日(火) 視力検査(4年)
- 17日(水) 視力検査(3年)、クラブ活動
- 18日(木) 視力検査(2年)
- 19日(金) 視力検査(1年)
- 授業参観・懇談(4, 5年)
- 23日(火) 授業参観・懇談(1, 2年)
- 24日(水) 就学時健診
- 26日(金) 小学校体育大会(6年)